別紙２

令和９年度公募事業助成金応募申請書作成要領

令和９年度公募事業助成金の応募申請書については、以下の事項を参考に作成するものとする。

１　【様式Ａ関係】
（「豆の日」協賛事業又は豆類消費啓発助成等事業に応募する場合）

（１）　応募申請書

応募課題名、応募団体名、代表者氏名、事業窓口担当者名等を記載する。

このうち、「応募課題区分」は、公募要領の別紙１の事業の区分の１又は２を記載し、「事業の具体的内容」の①又は②のうち該当するものを記載する。

なお、「応募課題名」は、事業の内容及び成果の形がイメージできるような簡潔な課題名を記述する。

（２）　（別添１）事業計画書

実施を希望する事業の目的、内容、期待される成果等が分かるよう簡潔・明瞭に記述し、全体で２枚以内とする。

事業の実施期間は、原則として、１年以内とする。

（３）　（別添２）事業の収支予算

実施を希望する事業の予算額、その積算根拠等が分かるよう簡潔・明瞭に記述し、全体で２枚以内とする。

（４）　（別添３）団体の概要

応募団体の概要が分かるよう、団体の所在地、資産の現況、実施事業の内容等を記述する。

（５）　添付資料

応募団体の概要等が分かる定款、財務諸表、パンフレット等を添付する。

２　【様式Ｂ関係】（豆類調査研究助成事業に応募する場合）

（１）　応募申請書

応募調査研究課題名、応募者の所属する大学・研究機関等の名称、代

表者名、事業窓口担当者名等を記載する。

このうち「対象豆類の種類」は、調査研究の対象とする「小豆」又は「いんげんまめ」の名前を具体的に記載する。

なお、「応募課題区分」は、公募要領の別紙１の「事業の区分３」の「事業の具体的内容」の①～④の中から該当するものを記載する。

また、「応募課題名」は、調査研究の内容及び成果の利用分野がイメージできるような簡潔な課題名を記述する。

（２）　（別添１）事業計画書

実施を希望する調査研究の目的、内容、調査研究手法、成果、雑豆主産地において期待される効果等が分かるよう簡潔・明瞭に記述し、全体で２枚以内とする。この場合、目的や期待される成果については、それがどのように活用され得るかを極力具体的に記述する。

また、事業の実施期間は、原則として１年であるが、３年間を限度として応募することができる。事業が複数年にまたがる場合は、全体計画を記述した上で、当該年度の事業計画の位置づけ及び内容を記述する。

なお、当該応募事業に係る全体計画の参考図表及びこれまでの調査研究の成果を２枚以内で添付することができる。

（３）　（別添２）収支予算書（事業の収支予算）

実施を希望する調査研究の予算額（複数年度にまたがる場合は、単年度の予算額）、その積算根拠等が分かるよう簡潔・明瞭に記述し、全体で２枚以内とする。

（４）　添付資料

応募者の所属する大学・研究機関等の沿革、組織、財務諸表、事業活動の現況等が記述された要覧等の冊子を添付する。